

平成 28 年度ロシア向け省エネルギー研修を実施しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託（国際エネルギー使用合理化等対策事業・省エネルギー人材育成事業）を受けて、H28.9.26～H28.9.30の5日間 ロシアから研修員 14 名（ロシア連邦政府・州政府関係者、民間企業関係者、UNDP 関係者（オブザーバー参加）を招聘し、ロシア国の省エネ政策の主目標であるビル省エネルギーについて研修事業を実施しました。研修目標は以下の通りです。

- (1)日本のビル省エネルギーに関する規制基準・支援制度及び技術について理解するとともにその知見を自国のビル省エネルギーの制度設計に役立てる。
- (2)日本の省エネビル視察を行う。



全体集合



実施内容は日本側からの省エネルギー基本政策の講義から始まり、ロシア側からは現状のビル省エネルギー政策状況について説明があった。また日本のビル省エネルギー政策およびその規制基準について詳細に講義した。また、2箇所のビル省エネルギー優秀事例および熱供給プラントを見学した。

最終的にはロシア側から、日本の情報を今後のビル省エネルギー規制立案時の参考とする活動計画が発表された。また研修生からは以下の意見があった。

- 1)日本の省エネ設計基準および省エネビル見学は非常に参考になった。
- 2)熱供給システムを見学し、特に洞道に導管が敷設されている事に非常に感銘した。
次年度以降で熱供給システムについても研修テーマとして検討してほしい。
- 3)日本の寒冷地建築基準について学びたい。特に北海道等の設計基準について学習する必要がある。
自国でも同じような基準があるが、どこまで基準が順守されているか、その CHECK 体制が非常に脆弱であり、日本の管理体制を見習うべきである。等
上記の意見を参考にし、今後の計画を検討する予定である。